

基本計画素案策定におけるポイント

- 1 現（第4次）基本構想における（10年間）「政策目標」相当を基本計画（5年間）に移行
 - ・時代の流れが速い現状を考慮し、政策目標を5年単位で見直し
 - ・必要に応じて期間満了前に見直し

- 2 「危機管理」を政策目標の項目として独立し、最初に配置
 - ・「市民と来誘客の命を守る」ことを最優先課題とする意思表示
 - ・防災（自然災害対策）、防犯（生活安全対策）、防疫（感染症対策）を対象

- 3 SDGs との連携
 - ・SDGs の目標「誰一人取り残さない」持続可能な地域づくり≒総合計画の目標
 - ・5つの政策目標に集約

- 4 各政策目標推進における横断的な「視点」を記載
 - ・政策目標ごとに掲げる施策の推進に当たり、バックボーンとなる視点を記載
 - ・本市の課題を「視点」に集約 ⇒ 施策立案～推進に必ず意識する項目

- 5 政策目標に盛り込む新たな視点
 - ・2－4 幼児教育を教育分野から政策目標2の健康福祉分野へ移行
 - ・2－8 「多様性のある社会の実現」を施策立て（LGBTや男女共同参画等）
 - ・4－2 教育の充実（小・中学校）→未来を創る教育の充実（小・中学校）
 - ・4－7 「郷土愛の醸成」を施策立て（高校生と連携した事業や中高生WS等）
 - ・5－2 「新たな観光形態の構築・推進」を施策立て
 - ・5－7 「移住定住の促進・関係人口の拡大」を施策立て